

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
高等学校	和歌山県立新翔高等学校	藤田勝範
学校所在地		
〒647-00071 和歌山県新宮市佐野1005番地 Tel0735(31)7087 fax 0735(31)7870		
担当者名	役職名・担当教科	
川上 彩	教諭・観光一般	
<p>〔学校の概要〕</p> <p>総合学科であり、卒業後に向けて様々な選択科目の中から進路や関心に応じた科目を選択することのできる学校である。教育目標としては「地域に開かれ、地域から信頼される学校作りを目指すとともに、時代の変化に主体的に対応できる人間を育成する」である。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 3年生 16名	1名 職員 1名	学校
実践研究テーマ		
ふるさと学習を通じたふるさとの魅力発見		
実践教科等名	単元名	
観光一般	和歌山県・世界遺産について学び魅力を知る	
〔キーワード〕 世界遺産学習 ふるさと学習		
<p>〔単元目標〕</p> <p>(1) 新宮市・東牟婁郡地域の観光について</p> <p>(2) 校外学習に向けて</p> <p>(3) 世界遺産について</p> <p>(4) 和歌山県の世界遺産について</p> <p>(5) まとめ</p>		
<p>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</p> <p>全体 10 時間 （「 世界遺産と和歌山の世界遺産について学ぶ 」 5 時間 ）</p>		
<p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</p> <p>和歌山県世界遺産センター …世界遺産入門 次世代育成事業（現地学習等）</p>		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	・自分の住んでいる地域の観光や魅力、自分のおすすめスポットを調べ共有する。	・自分が住んでいる町のなかで生徒自身が好きな場所を考える。 ・その町の観光資源はなにか、観光客に勧める場所は何かを調べる。	・ワークシート
2	・校外学習に向けて、挨拶やマナーを学ぶ。	・校外学習や卒業後の進路にむけてビジネスマナー（あいさつ・言葉づかい・身だしなみ）について学習する。	・ワークシート ・観察
3	・世界遺産とは何か、を学ぶ。 ・日本国内および他国にある世界遺産について学ぶ。	・世界遺産の発祥を学習し、世界遺産の価値を学ぶ。 ・国内や国外の世界遺産を調べその魅力を学習する。	・ワークシート
4	・和歌山の世界遺産・紀南地方の世界遺産について学び、自分たちの暮らす地域の観光資源について学ぶ。	・和歌山の世界遺産・紀南地方の世界遺産について学習する。 ・和歌山県世界遺産センターを訪ね、世界遺産について学習するとともに、熊野古道を歩く。	・ワークシート ・観察
5	・校外学習のまとめをおこなう。 ・これまでに学習したことをもとに、世界遺産カルタ、和歌山県カルタを作成する。	・道普請を終えて、学んだこと感じたことを資料にまとめる。 ・班に分かれ、学習した中から魅力が伝わるようなカルタを作成する。	・ワークシート ・観察
〔单元学習の成果と課題〕			
<p>(成果)</p> <p>ふるさと学習を通して、生徒は自分の住んでいる町や和歌山県について深く学びその魅力を再発見することができた。卒業後県外に進学や就職をする生徒が多数いるなかで、この場所にしかないもの、ここでしかできないことを知り、地域の人と出会うことで、ふるさとを好きにそして誇りに感じる事ができた。</p> <p>(課題)</p> <p>今年度はコロナウィルスの影響もあり校外での学習を実施する機会が少なかった。来年度以降は地域に出向く機会をふやし、地域との関わりを増やしていきたい。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<p>世界遺産教育は、世界遺産を通じて、世界を身近に感じ、世界の遠いところだけでなく、自分の身近にも、次の世代にも残して行くべきものがあることを学ぶことができた。生徒自身ふるさとを誇りに感じることでできる体験となった。</p> <p>(1) 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」について、調べ学習を通して興味関心を持てるようになる。</p> <p>(2) 世界遺産センターを訪ね世界遺産の概要を学び、また熊野古道の現地学習を通して世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」についての興味関心を高めることができる。</p>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<p>世界遺産学習を通して世界の世界遺産を学び国際的な意識を身につけさせるとともに、自分たちの住んでいる地域について学ぶことで今まで知らなかった和歌山県や自分の住んでいる地域の魅力に気づきふるさとを好きになってほしいです。そして生徒たちの今後の人生のなかでふるさとの魅力をこれから出会う人に伝えることができ、ふるさとを愛せる人になることをこれからも目指していきたいです。</p>			

しあわせ運ぶ 道普請

世界遺産入門のお話を聞いて

歴史というものは受け継いでいかなくてはなりません。そのために私たち若者ができることは今回聞かせていただいたお話を次世代に広め、関心を持ってもらうことです。

世界遺産とは何か？ 変わらず守っていくためにはどうすればよいのか？ というようなことを受け継いでいく活動を行っていきたいと思いました。

道普請を体験してみて

簡潔にまとめるとボランティア活動ですが、簡単なものではなくかなり大変です。足場が整っていないので歩くことのしんどさに加え、階段を作るための合計4キロの土運びが腕や腰を苦しめました。若さと元気であふれる私たちですら大変でした。ですが、このような活動を誰かが行わないと世界遺産を保つことができません。生まれ育った町である新宮の熊野古道をより良いものにしていくためにはなくてはならない活動です。

熊野古道ウォークをして

建物の世界遺産は世界各地にあります。道の世界遺産は世界に2つしかありません。その1つである熊野古道が私たちの生まれ育った場所にあります。そして心を癒す特別な地の魅力を堪能しました。なにより自然豊かで空気がおいしいので是非皆さんにも人生で1回は熊野古道ウォークを体験してほしいです。

